

みやざき木育マイスター業務報告

氏 名	家村 祐香 (有限会社 イエムラ)
実 施 場 所	社会福祉法人 つくしんぼ福祉会 ととろ保育園
実 施 年 月 日	④ 令和 7年 1月 28日
参 加 人 数	④年少児11名(当日欠席3名)、保育者3名、保護者8名、地域サポーター2名
活動の内容	宮崎県木育プログラム「森のしずく」の実施した。 当保育園では、 ①9月/保育者と地域サポーター向けに「木育マイスター講座」を実施 ②11月/年少～年長児を対象に「木のおもちゃであそぶ週間」 ③11月/年中・年長児を対象に「森のしずく」づくりを実施 ④1月/年少児・保護者を対象に「森のしずく」づくりを実施 サポーター講座から実践までを数回に分けて、紙芝居や、工場に出る端材を使った手作り木製おもちゃに触れてもらう機会を設定し、園とマイスター・地域サポーターとの交流を図りながら木育活動をおこなった。

①木育サポーター講座（9/28・つくしんぼ保育園と同時開催）

参加:保育者 7名、地域サポーター 7名、 森のしずく実践の木育サポーター講座



②木のおもちゃであそぶ週間（11/8～15）

工場で作る端材を使った手作りおもちゃを20体以上持ち込み、木のおもちゃづくりの話、紙芝居「もりのしずく」、おもちゃ遊びで交流。その後2週間、園で自由に遊んでもらった。



③年中・年長児対象「森のしずく」づくり(11/12)

参加:年中児 7名、年長児 13名、地域サポーター3名、他見学者



④年少児・保護者対象「森のしずく」づくり（1/28）

参加:年少児8名、保護者8名、保育者3名、地域サポーター2名、他見学者



【 木育実施の感想・意見などまとめ 】

①木育サポーター講座(9/28実施)

◎地域サポーターを招いての開催。高齢の方がほとんどで、特に男性は木工に対しての知識もあったので、実践しながら子供たちへ見守り・声かけのポイント(正しい姿勢)(やすりがけの方向)を伝えるよう心掛けた。

(参加者感想)

- ・子どもたちと触れ合いながらものづくりをできる機会はとてもありがたい、木工の経験はあるが、子どもたちにどのように教えれば良いのかポイントなどを学んだので、実践で活かしていきたい。(地域サポーター男性)
- ・木を使ってものづくりをする機会がほとんど無く、新鮮な体験でやすりがけに没頭した、子どもたちには、山と身近にある木とのつながりを感じながら森のしずく作りを体験してほしい。できれば職員みんなで参加したい。(保育者)

②木のおもちゃであそぶ週間(11/8～15実施)

◎(有)イエムラで家具製造の過程で出る端材を使い、おもちゃを製作していただいている久保田氏のおもちゃを、20体ほど園に貸出しした。おもちゃができる経緯や、遊び方、紙芝居をとおして、仕事の紹介・山とくらしの循環について話したり、サポーターも一緒に遊んだり、園との交流をしたことで、次の「森のしずく」実践へつながる有意義な時間となった。

(参加者感想)

- ・最近の子供たちにとってこのような木製おもちゃはとても新鮮で、話を聞いているとき、子どもたちの目が輝いていた、2週間ほどの設置期間中に親御さんもとても興味を示していただき、自由に触って遊んでいただいた。また来年も開催したい。(保育者)
- ・どのように動くのか、ビー玉や人形の動きを目で追いながら遊び方を考える子どもたちの姿がとても印象的だった。イエムラさんの端材を使っておもちゃを作った久保田さんのお話、壊れても修理をすればまた遊べるんだよ、という言葉もあったが、このような体験をとおしてものを大切にする心が育めるといいなと感じた。(保育者)

④年少児・保護者対象「森のしずく」づくり(1/28実施)

◎少人数・親子参観での実施だったので、終始スムーズに進行する事ができた。各テーブルにサポーター研修を受けた保育者・地域サポーターの配置ができたこともあり、マイスターは各テーブルごとの進行状況をみながら声掛けをし、予定時間どおりのプログラム実施ができた。

(参加者感想)

- ・親子で一緒にものを作るという機会がなく、今日はお揃いのしずくも作れて嬉しい、会社を休んで参加して良かった。(保護者)
- ・今日のように四季・自然を感じながら親子であそぶ体験をもっと増やしてほしい。(サポーター)
- ・このような機会を設定しないと、山や木について考える事、木工工作をする機会が無いのでとても良い時間になった。工作の種類がいくつか選べると、費用を出してでも参加したいと思うのでは。(保育者)